

武蔵村山市第五次男女共同参画計画（素案）に対する意見及び市の考え方

該当箇所	意見の主な内容	市の考え方
1 P 2 2 第 3 章 計画の内容 3 施策の展開 基本目標 1 男女平等の実現に向けた意識の向上 主要課題① 男女平等の意識づくりと固定的な性別役割分担意識の解消	年齢が高いほど「固定的な性別役割分担」に従う傾向が強いので、この年代へ教育を行わなければならないが、年齢が高いため難しさの方が強い。重点目標にもなっているが、意識を変えるのは簡単にはできないことだと考える。逆に考えるなら、若い世代ほど「固定的な性別役割分担」がないので、できる限り次世代を中心に据えることを優先で考えれば、早いうちに切り替わっていく。ただし、切り捨てにならないよう年齢の高い世代に教育してそれでもだめな部分では次世代へ切り替えることを優先するという考えをひそかに盛り込んではどうか。	御意見のように長年の経験により形成された意識に変化を促すことは容易ではないこともありますが、固定的な性別役割分担意識の解消に向けた取組は、様々な世代を対象として実施していく必要があると考えております。このため、今後も、年齢の高い世代を含む様々な世代に対し、各世代に応じた効果のあるものとなるよう留意しつつ、男女平等意識の醸成及び固定的な性別役割分担意識の解消を目指した啓発を進めてまいります。 併せて、若い世代に対しては、固定的な性別役割分担意識の解消を図るとともに、将来に向けてそのような意識にとらわれることのないよう、学校において男女平等教育を推進してまいります。
2 P 2 6 第 3 章 計画の内容 3 施策の展開 基本目標 1 男女平等の実現に向けた意識の向上 主要課題② 性の多様性の尊重	性の多様性と女性の尊重は両立できないこともあるようなので、状況によって優先順位を考えられるような指導を行わないとならないことが出ると思うが、これもまた時代が変われば対応が変わることになると思うので、こうしなさいと決めつけるのではなくお互いの気持ちを考えて解決に向けられるような指導を行うことが重要かと思われる。	性の多様性への理解を深め、それぞれの性を尊重することは、一人一人がお互いの気持ちを考え、尊重し合うことにつながるものと考えております。 今後も、誰もが自分らしく活躍できる社会を目指し、このような視点をもって、性の多様性の尊重と理解の促進に努めてまいります。

該当箇所		意見の主な内容	市の考え方
3	P 2 8 第 3 章 計画の内容 3 施策の展開 基本目標 2 あらゆる暴力・ハラスメントの根絶	D Vやハラスメントについては、まだまだ一般市民への啓発が重要と考えるので、特に若い世代に継続して行っていただきたい。	D V及びハラスメントは、個人の尊厳を傷つけ人権を侵害する、あってはならない行為であると認識しており、今後も、その防止に向けて、広く意識啓発を行ってまいります。 併せて、デートD V等に対する正しい認識を定着させるため、特に若年層を中心に広報・啓発を行ってまいります。
4	P 3 5 第 3 章 計画の内容 3 施策の展開 基本目標 3 女性活躍の推進とワーク・ライフ・バランスの推進 主要課題① 女性活躍の推進	女性リーダーについてもやはり年齢の高い層には難しいので、若い世代が活躍できるよう企業に働きかけるとともに市役所でもそういった雰囲気醸成を行う必要がある。年齢の高い層には理解を求める姿勢が良いのではないかな。	リーダーを希望し、又は適性のある女性が一人でも多くリーダーになれるよう、女性リーダー育成事業を行ってまいります。また、市内事業所に対し、就労の場における男女平等の取扱いの徹底を支援するための啓発を行ってまいります。 市役所におきましては、今後も、男女平等意識を定着させるため研修を実施するとともに、女性職員の積極的な登用を図ってまいります。